

## 東京中学記録メモ

第一日目 8月18日(月)

やや蒸し暑い日である。148名の先生の参加で、第一日目の教室が開催された。

### 1時間目 栗原久先生(東洋大学)「Basic 中学校で教える経済的な見方や考え方」

#### 1 中学校公民の教科書が変わった

小学校で、価格や費用が入った。中学校でも、間接金融、直接金融などが入ってくる。また、新しい学習事項が沢山入ってきている。その意味では、自分の学校で使っている教科書だけでなく、他社本も読んで比較したり、情報をゲットして欲しい。

#### 2 何を学ばせるのが経済教育か?

「経済的の見方や考え方の基礎」を学ばせることが、新学習指導要領のみそ。暗記科目から、「用具教科」としての転換が目指されている。例えば、トレードオフ、機会費用、サックコストの概念、インセンティブ、所有権などの考え方を教えることが目指される。(実際に囚人のディレンマをもとにしたぐー・ぱーゲームを実施した。)

#### 3 活用はむずかしい

活用をすることが目指されている。しかし、それは意外と難しい。事例を二つ。ひとつは、花と種の関係、もう一つは会社と利潤の関係(信州大学の学生のアンケート)、を紹介したい。私たちは、例外のないルールはないというバイアスによって、法則や概念を正しく活用することは難しい。

#### 4 「なぜ」をしっかり考えさせたい

言語活動の充実が目指される。これは、問いをたてて、追究させるのが公民の授業である。分かったことを目指すが、分からないということが分かることが大事。指導要領の解説本では、問いが沢山例示されている。それを活用することを勧める。活用が、上手く行かなかった事例として、公共料金の性質を書かせる実施状況調査の問題を提示しておく。もう一つ、なぜという問いが書かれていない事例。教科書での株式市場がなぜ必要かついては、説明されていない。株式会社と株式市場をつなぐのが授業である。所得の再分配に関しても同じようになぜが書かれていない。所得の変化の関係と幸福を考える問いや、リスク回避性かどうかを判断させることから、「なぜ」考えさせる授業ができる。

### 2時間目 李洪俊先生と仲村秀樹先生の実践報告

李洪俊先生(大阪市立長吉中学)の実践報告

#### 1 学校の紹介

大阪市の南部平野区、八尾市と松原市の境にある学校。一学年4から3クラス規模の学校。現在は比較的落ち着いているが、学ぶ意欲に関してはそれほど高いわけではない。

## 2 需要と供給の教え方

教科書では、みかんの値段と入荷量の関係から授業をやるが、教科書にあるグラフとは違うのでギャップがある。

需要と供給を探究活動型で行いたい。またその際は、必ず数字を入れて考えさせるようにしている。

最初は、二者交換、次に三者交換、多数交換になったら交換は難しいか、やさしいかという問いからはじめる。(生徒はやさしいという)。多数交換から、市場、お金を出させる。

次に、価格の決め方を考えさせる。コカコーラを事例とする。生協では、自販機では、映画館では、ホテルでは？と問いをかける。そこから、価格の秘密を考えさせる。

スマホの値段から、需要曲線と供給曲線を導きだす。(生徒のなかには、グラフが書けない生徒がいてびっくり)。ここから、均衡価格、市場価格を導く。需要超過、供給超過まで教える。発展学習として、曲線のシフト、余剰まで教えてゆく。余剰を教えたのは、市場のよさを知って欲しいから。

さらに発展課題を課す。グループ学習。ほとんどできないけれど、取り組むことに意義があると考え。高校で勉強するけれど、こんなの勉強したら面白いだろうとなげかける。(生徒はぼかんとしているが、面白いといわせる！)。

## 3 公正な税制について学ぶ

「レインボーニュース」掲載の実践を紹介する。クイズ、税の制度を知る、公平な税を考えさせる、班で発表させる。

## 4 まとめ

学校は学力に課題はあるが、レベルの高いものを投げかけることで、共同学習(学びの共同体)を目指している。

### 仲村秀樹先生(江東区立辰巳中学)の実践報告

会社づくりの授業例(5時間配当)。これまでの学習指導要領でも実践してきた。新学習指導要領の、習得から活用、探究にあわせてバージョンアップした。

会社を作ったあと、社会貢献など8つの視点から、会社評価のレポートまでの授業を構想した。その際、最初にやるのは、会社に関するインタビューをやらせる。その上で、自分が設立してみたい会社を考えさせる。参考に、前年の実践例を紹介しながら取り組ませている。(その際の注意は、小規模学校なのでプライバシーの保護)。企業経営に必要なものをあげさせ、実際の企業の事例なども調べさせる。

発表は、「屋台村形式」で行い。発表と投資をするかどうか、入社するかどうかで投票をさせる。結果をみて、なぜそうしたのか、どうあるべきかを考察させるようにしている。最初の8つの視点でまとめる。(現実には、そのうちの3つに絞って行わせている)。いい会社って何という問いを、概念でまとめさせる。最終的には、企業について、投資についての概念がまとめられるのではないかと。

最後は、まとめのレポートは、実際にある企業に関してレポートをさせるようにしている。求人広告やお詫び広告なども活用する。

企業の単元でこのような授業をやることで、経済の見方や考え方を身に付けるものになると考えて実践している。

### 3 時間目 河原和之先生、佐藤敏彦先生「新聞記事を使った楽しい経済の授業」

河原和之先生（立命館大学など）の提案

#### 1 授業とは何か

すべての生徒が自由に何でも言える授業。学力差のない授業を目指す。考えたり、想像したり、意見を述べたり、相互討論する場面がある授業。最後に、静かな沈黙が流れ、行き方が揺さぶられ、自分自身を内省できるストーリーがある授業を目指したい。

#### 2 新聞活用の有効性

言語活動の充実。そのなかで新聞の活用が例示されている。

新聞記事には生徒の関心を引き出すことができる多数のネタがある。例：モーニング娘ラブマシーンと景気から社会の変化や経済の変化を読み取るクイズなどからの導入ができる。

鳥取県にはどうしてスタバがないの？（所得よりも、家で飲む要素が強いのでは、他の要素は？）という質問もできる。

アスリートと広告から、広告効果は？という質問もできる。

市場競争、価格、付加価値などに関する記事から質問を考えることは比較的やりやすい。

富士山の入山料から価格はシグナルということを考えさせる。いくらにすべきか？という設問もできる。

#### 3 活用型授業と新聞

##### 1) 文楽協会への補助金カットの記事から、効率と公正を考えさせる授業例。

新聞記事を導入にした。生徒の意見は、賛成論、反対論多様であった。

##### 2) 新聞記事を使い少子高齢化を考える授業例

新聞の記事（写真）を導入して授業をはじめ。クイズ、事例を沢山紹介。ここまでで1時間。2時間目は、その上で、みんなで少子化対策を考えようと問題提起。3時間目は、生徒が考えたものを吟味してゆく。特に、ユニークなアイディアを出させた。それをマトリックスに位置づけ、吟味（反論）させる授業を実施した。

ほかにも、中国の課題、ルワンダの奇跡などの事例から同種の授業が可能である。

佐藤敏彦先生（茨木市立彩都西中学）の提案

#### 1 参加型の授業提案をやりたい。

実際にこれまでやってきた授業である。

3 から 4 人のグループで、経済に特化した政党を作って、プリントにしたがって作業を進める。(約 10 分)

党首が決まったら、代表がプレゼンテーションをする。(たすきを用意する)

政党名を最後に付けるというのは授業の工夫の一つである。(最初に政党名をつけさせると大阪の子どもはギャグに走るなのでその予防でもある)

参加者の一グループが、発表する。(日本に外国人を招く政策を中心とした政党。おこしやす党)

## 2 新聞記事を使った経済の授業案

事例：UFJ はなぜ回復したのか？ (新聞記事)

一時危ういとされた。ハリポタ効果。投資額 350 億が効いた。それだけでなく、子どもをターゲットにした。バックドロップ (ジェットコースターを逆送させる) などの工夫。お金を余りかけずに集客する工夫をしている。

改革を推進した人。森岡さん。本も発行。大変革を起こすなら、人に嫌われることを恐れるな、などの名言を発している。

東京ディズニーリゾートとの比較。投資金額ではかなわない。あとはアイデアである。

同じような第三の道を取っている例は？大阪枚方パークの事例。ヒラパー兄さん。今は、岡田純一のマスクを付けて、ジェットコースターに乗る。カネをかけずに活性化を目指している。(佐藤先生は枚方という文字がはいった T シャツにきがえ、ヒラパー兄さんのアイマスクをつけて登場)

## 質疑

1 佐藤先生に、政党の授業は、どの単元でやるんですか？

A どこでも結構。政党でもいい、地方自治でもいい。でも、私は経済が終わった段階でやる。

2 国際分野の前でやるのですか？

A そのとおり。

3 河原先生に、批判の観点は教師からか、生徒からか？

A できれば生徒にやらせたかったが、今回は教師側からやった。今度は、生徒に取り組みせたい。

## 4 時間目 野間敏克先生「中学教科書で読み解く〈アベノミックス〉」

(基本的内容は、名古屋、大阪と同様なので、名古屋の記録を参照)。

補足事項 1. 金利低下、ゼロ金利に関して、ECB のマイナス預金の事例 (預かると金利を取る、マイナスの金利) を補足して説明した。

補足事項 2. 金融政策の伝わり方に関して、国民所得統計の 4-6 月分のデータが 8 月 13

日に発表されたので、それとの比較で説明する。これでは、マイナスが並んでいる。マイナスだらけである。GDPは三ヶ月ごとに集計しているもので、1-3月分は速報から修正されていることに注意して欲しい。これは、想定内なのか、そうでないかは難しいところだが、高校で講演をした浅子先生（一橋大学）は、想定内としていた。

補足事項3。期待インフレ率と国債金利に関して補足的説明を行った。

補足事項4。成長戦略に関しては、中学生に議論させることはできるのではないか。

## 質疑

1 日本の国債は海外で買われていないことはなぜ？

A：理由の一番は金利が安いこと。二番目は、日本人が沢山買っているので需給の関係から金利が低い。第三番目は、海外への売込みをやっていないことがある。

2 公定歩合に関してもう少し補足してほしい。なぜ、公定歩合を使わなくなったのか？

A：公定歩合は銀行間の金利より低く決められていた。だから公定歩合の変化が市中金利に影響を与えることができた。それをコールレートよりちょっと高めの金利を付けるようになった。公定歩合は、市中金利とは関連がなくなった。その意味で、政策とは関連がなくなった。

二日目 8月19日（火）

東京は、昨日から暑さが戻ってきたが、空はなんとなく秋めいてきているが蒸し暑い日である。二日目の経済教室は、115名の先生方の参加で開始された。

### 1 時間目 河原和之先生・加藤一誠先生「地理と経済の融合教材の開発」

1 はじめに

持ち時間が90分と、大阪より増えたので、ブラジルの教材を皆さんとやってみる。また、イントロ部分を拡張して話をすすめたい。

まず、自己紹介と大学での様子を紹介する。大学生のレポートを見ると、それまでの学習の様子が分かる。授業案を作らせたら、学生さんは皆ステレオタイプ。それを変えさせる。それが使命。

昨日の佐藤先生の授業案、とても面白いが、ねらいがはっきりしない。それを組み立てなおすのが私の使命である。かつて私がやったUSJをテーマとした総合学習のような形で再編できるのではないか。そのときの視点。ひとつは、場所へのこだわり。なぜあそこにUSJができたか。二つ目は、ET。目玉のアトラクションの背景を探らせる。三つ目は、大阪市の取り組みを調べさせ、現地に行った。現地行きは失敗。バリアフリーを調べさせたのだが、夢のあるところで現実を調べさせたので、生徒のモチベーションはあがらなかった。

私は現物を大事に留守。E Tに関して、新聞だったら、新聞を三つか、四つを用意する。E Tがスタートした時のもの、E T館がなくなった時、それが復活した時などの新聞を用意。また、E Tの自転車は東大阪で作られた。その新聞を使う。

佐藤さんのねたは、二つの事例とも企業努力でくれる。それだったら、株主構成を調べさせる。企業努力で生き延びたU S Jと他のつぶれたところとの違いは何か、どうこれから生き延びるのか。設けた企業が内部留保をして、設備投資をしてさらに集客をしてゆく、そのなかで労働者をやとって大きくなってゆく、そのなかでどんな提案ができるかという授業をしてゆけばよいのではないか。

## 2 ブラジルの教材に関して

以下本論です。

なぜ、このような融合教材を作ったか。ひとつは、政治、経済、地理的な観点からの世界認識が必要であること。二番目は当該国を総体として理解することが大事であること。三番目は投資という観点からの学習が大事であるという認識から。

東大阪で総合学習のコーディネータをやった事例。「街のノーベル平和賞を与えよう」。そのなかで、N P Oだけでなく、小さな地元の企業がさまざまな努力をしていることがわかり、感銘深かった。

ブラジル教材に戻る。最初に歌を歌う。次は二択クイズ。クイズでは、知識がなくても回答できるような設問、質問にすることが肝心。ここまでは、自然、人口が押さえられる。三番目は、写真の読み取りで民族学習になる。四番目は、異文化理解（こんなに違う日本とブラジル）と教材に即して進める。

グラフの読み取りに続く。資料活用能力が必要だとわかっていたが、生徒は嫌がる。でも、やはり必要だと思い、この部分を入れることにした。輸出品の変化、農業、工業の変化、G D Pの成長、大統領のスローガンなど明るい面を紹介。暗い問題、課題も紹介する。イラストはJ I C Aが使用を嫌がったので卒業生に描いてもらった。貧富の差、インフラの不十分、治安の悪化なども紹介する。その上で、課題を考えさせる授業構成になっている。

これだけでなく、ブラジルに会社を設立したいかを、10から0までの評価をして、その理由を答えさせる。会場の先生方も考えて答えて欲しい。それを生徒にやらせて欲しい。（会場の回答1、7、これから発展。治安がマイナス。日系人が多いので親近感あり。回答2、6、鉄鉱石、さとうきびで有力。格差や治安はマイナスだが将来はある。回答3、9、人口が多いそれが有力、先行投資をしておくことが必要。10年後には治安回復。投資をするなら今だろう。）

最後は、2016年のオリンピックの聖火ランナーは誰かを考える。

## 3 インド教材に関して

インドの教材も短時間だが紹介する。

（この内容は、大阪会場のものと同様なので、そちらを参照されたい。）

インドの授業をやった、埼玉県川口市立仲町中学の大川先生のコメントを頂きたい。  
大川先生のコメント。「三時間（3 クラス×1 時間）の授業でした。普通は飽きてしまうはずだけど、クラスによる微妙な違いを調整しながら実施して、好評だった。この教材は優れている。ブラジルは教科書とリンクしやすいが、インドはすこしやりにくい面もあるかもしれない。自習時間や投げ込みの1時間教材として活用して欲しいと思う。」

#### 4 まとめと補足

まとめとして、融合教材作成の視点の確認と、補足資料やネタヒント、活用型授業の方法例を多数紹介する。

現在、日本地理と経済の融合教材を作成中である。私は、モノにこだわってきた。その例。宅配便の秘密。どんなところにセンターを置いているかなどから、地理と経済の融合を考えさせる。

もう一つ開発中は、市町村合併の授業案。クイズからはじまり、なぜ市町村合併が行われたかを考えさせる。8000人を超えないと効率が悪いといわれている。なぜ？答えは、中学校の規模が絡んでいる。合併の効果は？答えは、国の財政改善。合併しない町はなぜ？固定資産税の関係など。

最後に融合経済の必要性を再確認して、問題提起を終えた。（補足として、経済と歴史の関係を紹介して、総合的、多面的、動的に扱うことが必要であることを強調した。）

## 2時間目 加藤一誠先生「よりよい生き方を経済で考える」

### 1 河原教材へのコメント

最初に、河原教材の開発の経過をまず紹介する。

私の専門は交通経済学なので、地理で教えている経済の事例と考え方を紹介する。資源がないわが国は工業国になれた秘密。船で輸出入。経済地理的な視点が必要。例えば、鹿島港、関空の貨物便などから立地と経済の関係が読み取れる。そんな授業が欲しい。

次に、河原教材の最後で紹介された市町村合併を経済学の観点から紹介する。これは、寡占と同じで、規模の経済が働く。政治で学ぶ箇所であるが、寡占と同じことが起こっている、効率の観点から見てゆくことが必要である。

### 2 教材「幸せの人生を経済しよう」の紹介

生徒は経済的発想をすることは難しい。この教材は、身近な事例、特に自分の人生に関係する問題を素材にしたものである。

導入で、どちらの男性と付き合うという問題からゆく。（機会費用の問題）

進路編で、自分の人生を選択と機会費用から考えさせる。

まず、データを読ませる。進学率、大学へ行く費用は？高卒と大卒の初任給の違いはいくら？機会費用を入れて考える大学進学のコストを計算させたりする。

就職に関しては、中学生はやや遠いが、大学では切実。高校生でも同じかもしれない。

どんな人間が要求されているか、フリーターの数などを紹介しながらフリーターの生涯賃金を見せる。職業別賃金も紹介する。年功序列がある仕事、ない仕事などを読み取らせることもよい。安定型かリスク愛好型か、回避型かを考えさせる。

結婚、家庭編までゆく。大学生、高校生と中学生はずれがあることに注意して欲しい。結婚相手、女性の機会費用、子育てによる機会費用はなどを紹介してゆく。あくまで、合理的に考えるとこうなるという数字である。ただし、最後はハッピーエンドに持ってゆきたい。自分に置き換えて考えさせるとよい。また、金銭評価も重要だけれど、お金以外に大切なものがあることにも気付かせたい。

この教材の目的は、社会に参加する機会が増えるに伝、重要な選択と決断をしなければならぬ機会が増えることをしっかり気付かせること。それを誤解しないで欲しい。

## 質疑

1 職種別年齢賃金で一度下がって上がっているのがある（医者）のはなぜ？

A：理由はよくわからない。多分、リタイアしたものが背景になっていないか？

2 船、水運では違うという部分に関してもう少し詳しく？

A：なぜ、という部分を教えていないのではという問題提起をしたつもり。市町村合併では経済的要因で教えて欲しい。船が長距離が有利であるという点は、コスト問題である。船（水運）が有利なのは流れを利用できる点がある。また、コンテナなど構造上有利な面をもっている。

## 3時間目 三枝利多先生「体験的手法による法と経済の授業」

1 はじめに

社会科は何を学ぶ学問か？

社会の仕組みを学ぶ教科であると考えてきた。中学校社会科は、地理、歴史、公民の三分野をすべて教えなければいけない苦しみがある。

体験的授業を進めてきた。昨年アンケートでみんな同じ悩み持ち、苦しみがあることを知って、改めて皆さんと同志と思っている。

経済の授業に力をいれているのは、それが役立つからだと思う。例えば、不動産の契約の時、配偶者選びも同じじゃないかと思う。人生に役立つ。

今回の教材「法と経済」をやってみて、役立ったこと。出口の公民的分野の授業を改善することで、出口で目指す生徒像をつかむことができた。その結果、地理や歴史の授業の改善になった。

2 法と経済の授業の趣旨と授業例

今回は、内容を融合させることで生徒の社会認識を深めることを目指した。経済が分からないと政治にも参加できない。

以下、授業展開例を紹介する。

#### 1) 社会の仕組みの必然性に気付かせるための導入例

なぜ世の中には、きまりがあるのだろうか？

なぜ世の中には、議会があるのだろうか？

なぜ世の中には、銀行があるのだろうか？ など

#### 2) 無人島シミュレーション（昨年の実践）

さまざまな、ミッションに答えをだしながら仕組みを分からせる

まとめとして、人間はより良く生きようとして努力してきた。そのなかの豊かに生きたいから市場経済の学習の流れとなる。もうひとつ、平和な社会にしたいというところから、民主政治の学習の流れとなる。

#### 3) 経済ってなんだろう（政府の経済活動）

財政の授業のとき、無人島シミュレーションからの発展として位置づける。

予算作りの作業をさせることを、カードを引かせて取り組ませた。

防災の授業と財政の授業を組み合わせ実践した。

#### 4) 契約書をつくろうという法（私法）と経済に関する授業案

「はじめての法教育」にそれが掲載されている。

### 3 模擬授業

事例の5をみんなで取り組んでゆきたい。発展した無人島。

ミッションA 学校をたちあげるために何が必要か？

（校舎、黒板、先生、教科書、子どもを集める、給食などなどが上がる）…資金と財、サービスが必要ということを理解させる

ミッションB 大工さんとトラブルになる、どう合意するか？

（大工さん側が資金集めの手伝いをする、利息をプラスするのでちょっとまってよと交渉する、貿易で儲けたお金持ちにお金を借りて払う、信用してもらい半額で取り組んでもらう、今集まったお金でできるところまでやってもらう、ローンを組む）…取引の決まりを作るという提案があると意図に近くなる

ミッションC 大工さんが約束どおりにやってくれません、どうしたら？

（時間の関係で以下は三枝先生がすすめてゆく）…訴える、など契約違反の時の方法を考えさせる。

ミッションD 漁業を発展させるためには？

…インフラ整備にもってゆく

ミッションE 漁業トラブルが発生した時は？

…共有地と漁業権の問題にもってゆく

ミッションF 貿易会社が売上を騙し取られた、どうしたらよいか？

…公共サービス、訴えるなど。財産権の重要さにもつなげたい。

最後に、どう発展させるかを考えさせる？

…ルール作りなどにも発展させたい。

以上で、発表を終わります。

#### 4 時間目 「みんなで語ろう」

最初に、猪瀬先生がレクチャーをする。

自己紹介と話し合いの柱をいくつか提示。苦しんでいるところ、こんな風に工夫すれば上手く行くよ、などの事例を出し合う。

多面的多角的、知的興奮、対立葛藤からの揺さぶり、視聴覚の利用などの具体例を交流しあう。

その後、40人の先生方が4グループにわかれ、講師7人（猪瀬、三枝、加藤、野間、李、仲村、新井）と膝を交えての交流を行った。

以上、二日間の教室を終了した。

（記録・文責：新井）